

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

## 事業名 県民ふれあい会館設備改修事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局 文化創造課文化施設係 電話番号：058-272-1111 (内 2458)

E-mail：[c11146@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11146@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 310,543 千円 (前年度予算額：298,382 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附 金	その他	県債	一般 財源
前年度	298,382	0	0	0	0	0	0	243,500	54,882
要求額	310,543	0	0	0	0	0	0	279,400	31,143
決定額									

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・ サラマンカホールの舞台音響設備は、設置から 27 年が経過しており、各所に故障が発生し、中には部品供給の終了により修理ができず、機能が制限されているものもある。設備が使えなくなるとホールのイベントに大きな支障が出るとともに、ホールの特徴である高品質な音響を収録・配信することができないため、早急に改修する必要がある。
- ・ 電話交換機も設置から 27 年が経過し、現有機器が 2013 年に販売終了となるとともに、2021 年 3 月末で保守サポート期間も終了する。これにより、故障しても部品供給されなくなり、修理できなければ会館の電話が使用不可能となってしまうため、早急に改修する必要がある。
- ・ 自動扉や防火シャッターも、老朽化による更新が必要とされている。特に防火シャッターについては、火災発生時に防火区画を適正に形成できなければ、煙が建物内に充満し被害拡大にも繋がるため、改修が必要となる。
- ・ ふれあい会館は建設後 27 年が経過しており、経年劣化により屋上の防水部分の防水加工が失われつつある。大雨時には漏水も発生しており、これ以上状況が悪化すると会館運営に支障が生じるため、計画的に改修する必要がある。規模も大きく、現状の把握から会館運営を継続しながら工事を行うた

めの工法検討等も必要となるため、工事に先立ち実施設計を行う必要がある。

(公共建築課への概算見積依頼済)

- ・空調設備も設置後27年が経過しており、その都度修繕を行い延命措置を図っているが、維持管理費も高額となり、また、2020年に製造が廃止されるフロンガスを使用した設備であることから、全面的な更新が必要とされている。当該設備の更新は大規模かつ専門的であり、施工方法の企画提案を含む基本設計が必要となる。
- ・ハロゲン化消火設備は、設置から30年以内に容器弁等の安全性の点検が必要とされる。点検により不具合が見つければ、結果として更新が必要となり、実際にはその可能性が高いため、更新を行う。
- ・冷温水発生機も設置後27年を経過しており、メーカーの更新推奨時期も過ぎている。夏・冬のピーク時に故障し機器が停止すると空調全体の運用に支障をきたすため、修繕を実施する。
- ・空調設備の自動制御器は、複数年かけて改修を続けているがいまだに不良個所も多く、空調の温度や風量のコントロールが十分できない箇所がある。利用者の健康管理や省エネの観点からも、機器の速やかな更新が必要となる。

## (2) 事業内容

- ・サラマンカホール映像音響設備改修工事
- ・電話交換設備更新工事
- ・自動ドア及びシャッター更新工事
- ・屋上及び屋根の防水・塗装実施設計業務
- ・空調設備更新等基本計画・設計業務
- ・ハロゲン化消火設備更新工事
- ・冷温水発生機修繕工事
- ・空調用自動制御機器更新工事

## (3) 県負担・補助率の考え方 県 10/10

## (4) 類似事業の有無 無

### 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	20	・屋上及び屋根の防水・塗装実施設計業務（実施設計事務費）
消耗品費	40	・屋上及び屋根の防水・塗装実施設計業務（実施設計事務費）
燃料費	10	・屋上及び屋根の防水・塗装実施設計業務（実施設計事務費）
役務費	10	・屋上及び屋根の防水・塗装実施設計業務（実施設計事務費）
委託料	48,845	・サランカホール映像音響設備改修工事（実施設計、工事監理） ・屋上及び屋根の防水・塗装実施設計業務 ・空調設備更新等基本計画・設計業務
工事請負費	261,618	・サランカホール映像音響設備改修工事 ・電話交換設備更新工事 ・自動ドア及びシャッター更新工事 ・ハロゲン化消火設備更新工事 ・冷温水発生機修繕工事 ・空調用自動制御機器更新工事
合計	310,543	

#### 決定額の考え方

### 4 参考事項

#### （１）各種計画での位置づけ

施設の計画的修繕に関して、施設の長寿命化計画を策定予定

#### （２）国・他県の状況

施設の老朽化対策は全国的な懸案事項となっており、地方公共団体は個別施設ごとの長寿命化計画を策定している。

#### （３）後年度の財政負担

単年度事業

#### （４）事業主体及びその妥当性

指定管理者との協定に基づき県が実施すべきもののみを対象とする

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
  - ・サランカホール（仮称）の舞台音響設備を改修し、適切な機器の運用による滞りないイベントの開催とサービス提供を実現する。
  - ・電話交換設備を更新し、支障のない会館運営を担保する。
  - ・防火扉・シャッター等を改修し、火災発生時の利用者の安全を確保する。
  - ・屋上・屋根防水の次年度以降の改修に向けて、実施設計を行う。
  - ・空調設備の計画的な全面改修に向けて、基本計画・設計を作成する。
  - ・ハロゲン化消火設備を更新し、火災発生時の利用者の安全を確保する。
  - ・冷温水発生機の修繕等を行い、円滑な会館運営を担保する。
  - ・空調用自動制御機器を更新し、温度やエネルギーの管理を適切に行い、利用者の健康や省エネに配慮した運用を実現する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
	(H )	(H )	(H )	(H )	(H )	%
	(H )	(H )	(H )	(H )	(H )	%

### ○指標を設定することができない場合の理由

施設の改修に係る業務であり、定量的な指標で表すことが困難であるため。

### （前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 

令和2年度に、自動火災報知器等更新工事第2期、直流電源装置更新、空調用インバーターの更新など、様々な設備修繕を行った。

(前年度の成果)

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果  
会館利用者に快適・安心して施設を利用していただく環境を整えることができた。

## 2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い      △：必要性が低い	
(評価)  ○	指定管理制度を導入するにあたり、県と指定管理者との間で下記の取り決めを行っている。 ・施設の大規模改修については、県の負担とする。 ・施設の修繕及び備品の負担区分については、 <u>修繕：60万円以上</u> <u>備品：10万円以上</u> を県負担とする。
・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価)  ○	計画的に修繕を実施することで、故障時の対応が容易にでき、公演休止やホールの休館等を防ぐことができる。
・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている      △：向上の余地がある	
(評価)  ○	指定管理者より修繕・更新を必要とする設備機器の優先順位を聴き取りながら、計画的に実施している。

(今後の課題)

- ・事業が直面する課題や改善が必要な事項  
各種設備の経年劣化がすすむ中で、要修繕事項が増加してきている。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

設備の劣化状況に鑑み、計画的に修繕を実施していくほか、大規模な改修については財政当局と協議をしながら、円滑な施設の維持管理を行っていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課

組み合わせる理由や期待する効果 など

--